公募テーマの詳細

公募テーマ10

公募テーマ	世界のサウナ施設及び離隔距離等に関する情報
現状・背景	近年のサウナブームに伴い実態を調査したところ、以下の内容が判った。 ・　国内外の基準差：海外ではサウナヒーター周りの可燃物表面の温度は上限120℃まで許容される例があるのに対し、日本は100℃を超えないこととされている。 ・　導入・設置の制約：この基準差により、海外製のサウナヒーターを国内に導入する際、海外での離隔距離以上に可燃物との距離を確保する必要があり、過大な設置空間を要することからコスト増・設置困難の要因となっている。
実現したい将来像	・　科学的根拠に基づく基準の適正化：世界のサウナに関する火災統計と、製品別のリスクを分析し、安全性と合理性の両方を実現した「新たなサウナ設備の離隔距離基準」を策定する。
想定する技術例	海外のサウナ基準が「火災発生率」にどう影響しているかをデータで証明するため、以下の情報を求める。 ・　海外火災統計の調査：ヒーターごと（ヒーターの方式・出力・可燃物までの離隔距離等）の火災件数 ・　原因を分析し、海外基準の安全性を検証。 ・　リスクの変動の予測：海外基準を国内に適用した場合の火災リスクのシミュレーション。 ・　遮熱技術の提案：距離を短縮しても安全性を維持できる、新たな遮熱材・断熱材や意匠設計。